

第6学年3組 国語科学習指導案

平成20年12月3日(水)第4校時

授業者 教諭

- 1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう
 題材名 平和のとりでを築く
 自分の考えを発信しよう
 インターネットと学習

- 2 単元の見聞
 ・筆者が訴えたいことを読み取り、それについて自分の考えを持つことができる。(読む)
 ・平和について調べたり、話し合ったりすることができる。(関心・意欲・態度)
 ・パネルディスカッションを通して、互いに考えを伝えたり聞いたりして、さらに考えを深めることができる。(話す・聞く)
 ・事実と意見を区別して書いたり、効果的な組み立てを工夫したりして、自分の考えを明確に表現することができる。(書く)

- 3 単元について
 「平和のとりでを築く」では、日本が過去に経験した原子爆弾、中でもその激しさを今なお物語っている原爆ドームについて詳しく書かれている。児童は、これまでの学習でも戦争について調べたり、平和の大切さについて考えたりした経験がある。そうした学習の総まとめとして、より広い視野に立ち、自分なりの考えを持てるようにしたい。
 ほとんどの児童がインターネットによる調べ活動をスムーズに行うことができる。今回もインターネットを中心に図書資料などからも情報を集めながら、平和についての多様な考え方に触れさせたい。さらに、学習の後半のインターネットと学習では発信する側の体験をする。その責任の重さも同時に体験させたい。

- 4 児童について
 児童会活動でエコキャップ運動を行っていることから、世界で苦しんでいる子供たちへの思いを、それぞれの児童が持っている。また、理科では環境新聞をまとめた経験もある。これまでの経験や学習など、様々な視点から平和についての自分の考えを持てるような手立てを工夫したい。
 ほとんどの児童が、書くことへの抵抗は少ない。しかし、考えをノートに書き表すことはできて、それを他の人と比較したり、他の人の考えを聞いてさらに考えを深めたりすることは十分ではない。また、自信をもって伝えることができる児童も少ない。相手に伝わるように話す工夫が不十分で、一本調子の話し方が目立つ。どんな考えであっても、互いに尊重し合い、伝え合うことで自分自身の考えも深まることを体験させて、伝えることへの意欲を高めたい。

- 5 指導について
 個人テーマ「伝え合い、深め合う喜びを実感できるように」をめざして、パネルディスカッションを取り入れたい。討論のための資料集めや、話の組み立てを考える際には、グループ内での伝え合いや深め合いがなされるだろう。パネルディスカッション本番では、次の主張をしたり質問に答えたりするために、自ずと聞く意識が高まると考えられる。また、より多くの人を納得させるためには、話す内容はもちろん話し方も重要になる。話すことが得意ではない児童にとって、パネルディスカッションは抵抗があるだろうが、グループで協力したり、討論の方法を十分に理解させたりすることで、そのハードルを少しでも低くして、充実した話し合いができるようにしたい。

話し合いを実りあるものにするためにも、原爆ドームが世界遺産に認められるまでの経緯や筆者の伝えたいことに関する読み取りを丁寧にしたい。また、説明的文章の読み取りに力をつけたいとする小中連携の取り組みから、指示語や文末表現に気をつけながら要旨をとらえる力をつける手立てを工夫したい。

研究主題「思いをふくらませ表現することのできる子どもの育成」をめざして、学習後半では、最終的に深められた自分なりの考えをまとめて発信できるようにしたい。

6 指導計画(14時間配当)

時	学習内容	ねらい	関	話	書	読	言	評価規準
1	学習の構えと見通しを持つ。	学習の構えを持ち見通しを持つことができる。	◎					(関心・意欲・態度) 戦争や平和について知っていることを交流している。
2	読みの課題を共通認識し、全文を読む。	読みの課題を持つことができる。				○		(読む) 疑問を持ちながら読み進めることができる。

3	文章構成をとらえる。原爆ドームに関して読み取る。	原爆ドームのたどった歴史と人々の思いを知ることができる。			◎	(読む) 原爆ドームのたどった歴史を年表に整理することができる。
4	筆者の伝えたいことを読み取る。	筆者の伝えたいことを正確に読み取ることができる。			◎	(読む) 正確に読み取ることができる。
5	段落⑫と⑬について話し合う。	段落⑬により強い筆者の考えが書かれていることがわかる。			◎○	(読む)(言語) 叙述の違いや文末表現から判断することができる。
6	筆者の伝えたいことを読み確かめて、書きまとめる。	筆者の伝えたいことについて書きまとめることができる。			◎	(書く) 根拠を明らかにして書きまとめることができる。
7	パネルディスカッションの方法を知りテーマを決める。	パネルディスカッションの方法がわかる。	◎			(関心・意欲・態度) パネルディスカッションに意欲を持つことができる。
8	テーマについて調べ、考える。	様々な情報から、自分の考えを持つことができる。	◎			(関心・意欲・態度) 意欲的に調べ、考えを持つことができる。
9 10	グループを作り、討論の準備と発表練習をする。	効果的な話の組み立てや資料の提示を工夫することができる。			◎	(書く) 主張や根拠、質問に対する答えを書くことができる。
11 本時	パネルディスカッションをする。	お互いの意見を聞きながら、考えをまとめて伝えることができる。			◎	(話す) 考えをまとめ直したり、進んで発言したりすることができる。
12 13	意見文を書いて発信する。	構成を考えて意見文を書くことができる。			◎	(書く) 明確に表現することができる。
14	学習を振り返りまとめる。	学習を振り返ることができる。	◎			(関心・意欲・態度) 感想を交流している。

7 本時の目標

友達の意見を聞いて、自分の考えをまとめ、伝えることができる。

8 準備物

司会者の合図鈴・ストップウォッチ・机・椅子, パネラーの椅子(5脚), 各グループの資料

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支援(・)と評価(☆)
○本時のめあてを確認する。	・教室の席を, パネルディスカッションのできる隊形に並び替えておく。 ・前時に決めた個人のめあても確認し, 意欲を持てるようにする。 ・めあてと関連づけながら, 話し合いのポイントを確認できるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> テーマについてパネルディスカッションを通して考えよう。 </div> ○パネルディスカッションを行う。 ①テーマ説明(司会者) ②意見発表1(パネラー) ③質疑応答(パネラー) ④意見交換(全体) ⑤意見発表2(パネラー) ⑥まとめ(司会者)	・司会者の事前指導をしておく。 ☆立場を明らかにして発言していたか。(発言…話) ☆友達の意見を聞いて考えをまとめ直していたか。(発言・ワークシート…話・聞)
○ワークシートに振り返りを書く。	☆個人のめあてを達成できたか。(ワークシート…関)
○今日の授業の感想を発表する。	・パネルディスカッションを通して深まった自分の考えや, 友達の良いところを中心に発表するように伝える。

10 授業の観点

・互いに伝え合い, 深め合うために, パネルディスカッションという方法を用いたことは有効であったか。